

登録番号 第 22431 号

MIC アディオン[®]乳剤

特長：

- 各種野菜類や果樹等の幅広い作物に使えて、カメムシ・アブラムシ・シンクイムシ・ハマキムシ等に幅広い殺虫活性を示す合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- 速効的ノックダウン効果を示します。
- 優れた残効性と特異な忌避作用を示します。

アディオンは住友化学(株)の登録商標です。

有効成分	ペルメトリン（化管法第1種）・・・20.0%	包装	500ml×20
その他化管法該当成分	キシレン（化管法第1種）・・・26.0% エチルベンゼン（化管法第1種）・・・47.0%		
性状	淡黄色澄明可乳化油状液体	有効年限	4年
毒性	普通物 [*]	危険物	第4類第2石油類 非水溶性液体

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用害虫及び使用方法】

2025 年 3 月 12 日付内容

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類	2000～3000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	ハマキムシ類 カミムシ類	2000 倍					
もも	カミムシ類	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	6 回以内	散布	6 回以内
	シンクイムシ類 アブラムシ類	2000～3000 倍					
	モモハダガザミ	2000～4000 倍					
	ハマキムシ類	2000～3000 倍					
ネタリン	カミムシ類	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類	2000～3000 倍					
	モモハダガザミ	2000～4000 倍					
うめ	アブラムシ類	3000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
かき	カキハダガザミ チャノキアザミヤカ カミムシ類	2000～3000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	カキタガザミ	2000 倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
キウフルーツ	キイロマイカ	2000～3000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	カミシ類	2000 倍					
くり	クリタバチ	1000～2000 倍	200～700 L/10a	羽化脱出期 但し収穫 14 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内
	クリジゴロムシ	2000 倍		収穫 14 日前 まで			
かんきつ	ミシハモグリガ アブラムシ類	2000～4000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前 まで	6 回以内	散布	6 回以内
	チャノキロアザミウマ	2000～3000 倍					
	カミシ類	2000 倍					
いちじく	アザミウマ類 アブラムシ類	2000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	イチジクトリモチキ	3000 倍					
はまなす(果実)	シクムシ類	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
さるなし	キイロマイカ	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
アロニア	シクムシ類	3000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
ハスカップ	ハナキムシ類 アブラムシ類	2000～3000 倍	200～700 L/10a	収穫 3 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
とうもろこし	アワノメイガ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内
	アブラムシ類	2000～3000 倍					
きゅうり	オシツコガネ アブラムシ類 ウリハムシ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ズッキーニ	アブラムシ類 フキノメイガ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	6 回以内 (乳剤は 3 回以内、 粒剤は 3 回以内)
にがうり	アブラムシ類 カミシ類 タバコアザミウマ ヨトウムシ類 フキノメイガ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
すいか	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内
メロン	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内
かぼちゃ	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
いちご	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	5 回以内	散布	5 回以内
ごぼう	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内
	ヨウムシ	2000 倍					
葉ごぼう	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、非結球はくさい、みずな、なばな類を除く)	アオムシ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
非結球はくさい	アオムシ	2000～4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
こまつな	アオムシ ハクサイタニ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
キャベツ	アオムシ コガ アブラムシ類 ヨウムシ タマギンウバ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内 (株元灌注は 2 回以内)
	ネリムシ類	4000～8000 倍	0.5L/㎡	収穫 21 日前まで	2 回以内	株元灌注	
	アオムシ ヨウムシ	32 倍	1.6～3.2 L/10a	収穫 3 日前まで	5 回以内	無人航空機による散布	
はくさい	アブラムシ類 アオムシ コガ ハクサイタニ ヨウムシ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内
	ネリムシ類	4000～8000 倍	0.5～1L/㎡			株元灌注	
	アオムシ ヨウムシ	32 倍	1.6～3.2 L/10a			無人航空機による散布	
		64 倍	3.2 L/10a				
だいこん	アオムシ コガ ヨウムシ ハマダラメカ ダイコンムシ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内
	アブラムシ類	2000～3000 倍					
かぶ	アオムシ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	4 回以内 (散布は 2 回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
茎ブロッコリー	アオシ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ブロッコリー	コガ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	アブラムシ類	2000～3000 倍		0.5～1L/㎡		収穫 7 日前 まで	
	ネリムシ類	4000～8000 倍					
カリフラワー	コガ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	アブラムシ類	2000～3000 倍					
なばな類	アオシ コガ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
みずな	アブラムシ類 ダイコンハムシ ヤシロウシ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	アオシ	2000 倍					
レタス	アブラムシ類 ヨウムシ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
非結球レタス	アブラムシ類 ヨウムシ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	4 回以内 (乳剤は 2 回以内、 粒剤は 2 回以内)
トビナス	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
たまねぎ	アザミヤカ類 ネコガ ハスモンヨトウ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
ねぎ	アザミヤカ類 ネコガ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	シロイモジヨトウ	2000 倍				株元灌注	
	ネリムシ類	4000～8000 倍	0.5～1L/㎡	収穫 7 日前 まで			
にんにく	アブラムシ類 ネコガ	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	4 回以内 (乳剤は 2 回以内、 粒剤は 2 回以内)
	アブラムシ類	32～48 倍	1.6L/10a			無人航空機による 散布	
アスパラガス	ジュウボシクダハムシ カミシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ヨウムシ アブラムシ類	2000 倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む 農薬の総使用回数
豆類 (未成熟、 ただし、 えだまめ、 さやいんげん、 さやえんどう、 未成熟そらまめ を除く)	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウナギジミ アズキノメカ マシクイカ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
未成熟そらまめ	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウナギジミ アズキノメカ マシクイカ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
えだまめ	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウナギジミ アズキノメカ マシクイカ ウコンノメカ ツメクサカ フタスジヒメハムシ マメハムシヨウ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
さやいんげん	カミシ類 アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウナギジミ アズキノメカ マシクイカ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
さやえんどう	ハモグリバエ ヨトウムシ類 ウナギジミ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ほうれんそう	アブラムシ類 ハクサイダイニ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
はこべ	オオハコカ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前 まで	1 回	散布	1 回

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
だいず	マシクイ ^カ カミシ類 アブラムシ類 フタズミヒメハシ マハハミヨウ ツメクサ ^カ ウコンノメ ^カ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	アブラムシ類 カミシ類 ウコンノメ ^カ ツメクサ ^カ フタズミヒメハシ マシクイ ^カ マハハミヨウ	24 倍	0.8L/10a			無人航空 機による 散布	
あずき	アズキノメ ^カ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	アブラムシ類	2000～3000 倍					
そらまめ	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
しそ	ハセンヨトウ ウリハムシト ^キ アブラムシ類 アザミヤ ^カ 類 コシジラミ類	4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	4 回以内 (乳剤は2 回以内、 粒剤は2 回以内)
トマト	オシツコジラミ アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ミニトマト	オシツコジラミ アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4回以内 (株元散布は 1 回以内、 散布及び噴射は 合計3 回以内)
なす	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	オシツコジラミ テントウムシダマシ類 カミシ類	2000 倍					
ピーマン	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	タバコ ^カ カミシ類	2000 倍					
とうがらし類	アブラムシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	タバコ ^カ	2000 倍					
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫14 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む 農薬の総使用回数
やまのいも	アブラムシ類 ヤノコガ アザミヤカ類	2000～3000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
さといも	ハモシヨトリ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	アブラムシ類 スズカガ類	2000～3000 倍					
さといも (葉柄)	ハモシヨトリ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
	アブラムシ類	3000 倍					
かんしょ	ヤノコガ	3000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
オクラ	ハモシヨトリ アブラムシ類 カミシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
つるむらさき	ヨウムシ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫7 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
食用ゆり	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内
食用亜麻	ヨウカ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
ごま	アブラムシ類 カミシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
しゅんぎく	アブラムシ類 ハサゲダニ	4000 倍	100～300 L/10a	収穫21 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
茶	チャノコカモシハマキ	2000 倍	200～400 L/10a	摘採14 日前 まで	1 回	散布	1 回
	チャノミドリヒメコバイ チャノホガ チャノキイロアザミヤカ	2000～3000 倍					
花き類・観葉植 物(はぼたんを 除く)	アブラムシ類	2000～4000 倍	100～300 L/10a	発生初期	6 回以内	散布	6 回以内
	カミシ類 ハマキムシ類 ヨウムシ類	2000 倍					
はぼたん	アブラムシ類	2000～4000 倍	100～300 L/10a	発生初期	6 回以内	散布	6 回以内
	カミシ類 ハマキムシ類 ヨウムシ類 アオムシ	2000 倍					
樹木類(くちな しを除く)	カミシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000～8000 倍	200～700 L/10a	発生初期	6 回以内	散布	6 回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む農薬の総使用回数
くちなし	クハシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000～8000 倍	200～700 L/10a	発生初期	6 回以内	散布	6 回以内
	アザミヤカ類	2000 倍					

使用上の注意事項

- (1) 水溶性パック入りの製剤を使用する場合には、次の事項に注意すること。
 - 1) 濡れた手でパックに触らないこと。
 - 2) パックは水によく溶けるので、そのまま所定量の水に投入すること
- (2) 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意すること。
- (3) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - 1) ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - 2) 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - 3) 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (4) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないこと。
- (5) みずかけな（水掛菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用後 14 日間は入水しないこと。
- (6) ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (7) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - 1) 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - 2) 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - 3) 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - 4) 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
 - 5) 作業終了後は次の項目を守ること。
 - イ. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - ロ. 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
 - ハ. 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- (8) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。
 なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- (3) 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (4) 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (5) 使用の際は農薬用マスク、手袋などを着用すること。また薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- (6) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- (1) 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用はさけること。
- (2) 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3) 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (4) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----
危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意すること。

貯蔵上の注意事項-----

- (1) 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。
- (2) 水溶性フィルムで包装した製剤は湿気には十分注意すること。容器からパックを取り出した後は、容器のふたをしっかりと閉めること。
- (3) 子供の手の届かない場所に保管すること。